

★基礎からMOFの合成方法、解析方法、応用利用に関して解説。

★環境・エネルギーなど多岐にわたる分野へのMOF薄膜材料の可能性や、その作製方法を紹介！

1名分料金で
2人目無料

金属有機構造体(MOF)の基礎と機能性薄膜としての可能性

【LIVE配信】セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2405103>

- ◆日時：2024年5月24日（金）13:00～16:00
- ◆本セミナーのアーカイブ配信はございません。
- ◆受講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円（税込）から

・1名で申込の場合、**46,200円（税込）**へ割引になります。・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円（2人目無料）**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】

大阪公立大学 物質化学生命系専攻
准教授 博士(工学)

岡田 健司氏

2023年 日本化学会 第73回進歩賞

2021年 "2021 Emerging Investigator" Journal of Materials Chemistry A

2019年 日本セラミックス協会 進歩賞

【習得できる知識】

金属有機構造体(MOF)の基礎的な知識

金属有機構造体(MOF)を利用した材料の可能性

金属有機構造体(MOF)を基盤とした製品化に関する可能性

【講演の趣旨】

金属イオン（金属クラスター）と多官能性の有機配位子の配位結合により、自己組織的に得られる結晶性のマイクロ多孔性有機-無機ハイブリッド材料である金属有機構造体(MOF)は規則正しく連結した骨格を有し、その間隙にマイクロ細孔を有する。金属種や有機配位子の選択による骨格構造や細孔の化学・物理特性の設計性の高さから吸着材料や触媒材料などへの利用が進んでいる。近年、MOF膜を分離膜やセンサー、高性能誘電体などのマイクロエレクトロニクスなどの応用に利用する研究が進んでいる。MOFは一般的に溶液法により粉末として得られ、均質な薄膜の作製は困難である。本セミナーではMOFの基礎だけでなくMOFの合成方法、解析方法、応用利用に関して説明する。また、環境・エネルギーなど多岐にわたる分野へのMOF薄膜材料の可能性や、その作製方法を紹介する。

【プログラム】

1. はじめに

- 1-1. 多孔質材料に関して
- 1-2. 各多孔質材料の合成方法
- 1-3. 多孔質材料の一般的な解析方法
- 1-4. まとめ

2. 金属有機構造体(MOF)

- 2-1. 他の多孔質材料と比較した金属有機構造体(MOF)の特徴
- 2-2. MOFの一般的な合成方法
- 2-3. MOFの一般的な解析方法
- 2-4. MOFの応用展開

3. MOF薄膜

- 3-1. 薄膜としてのMOFの可能性
- 3-2. MOF薄膜の作製方法
- 3-3. MOF薄膜の解析方法
- 3-4. MOF薄膜の応用展開

※講演中に 質問・相談コーナーを
設けていただく予定です。

『MOF』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>